



女性部総会参加者
6月25日

第28回ママ友会議

「2学期にむけ子どもと」

- 7月18日(月)午後1時~3時
- アネックスバル法円坂和室

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



大阪母親大会
6月12日



第66回大阪母親大会が6月12日開催され、入場者500人とリモート参加者を合わせ約900人が

母親大会 軍隊で国は守れない 参院選で願い実現

参加しました。実行委員長はあいさつで、「ロシア軍によるウクライナ侵略、コロナ禍、カシノをめぐる、自公政権、維新には命も暮らしも任せられない。参院選は私たちの願いの実現のチャンス」と述べ、「侵略を一日も早く終わらせるため、世界の平和を願う人と手を取り合

って行動しましょう」と呼びかけました。国際ジャーナリストの伊藤千尋さんが「国民の願いが詰まった平和憲法を守ろう。二度と戦争は繰り返さない」と題して記念講演。これまで80カ国以上を取材してきた伊藤さんはウクライナの歴史と反植民地闘争、バル

ト3国の独立・主権回復運動などを紹介し、「NATO不拡大」などロシア側の侵略理由に道理はないと指摘。侵攻1カ月で千人を超える民間人死者が出て、ロシア兵士の死傷者も1万7千人に上ったとし、国際法違反の侵略は許されないと強調しました。

このロシア軍のウクライナへの侵略に乗じて憲法九条を変えようという動きや、「憲法九条で国を守るのか」という主張が叫ばれてい



文化行事ではマリオンバ演奏を聞き、6団体による発言交流では大教組女性部が大阪の教育のひどい実態を訴えました。

大阪市教は6月9日、「ICTを活用した教育」の業務軽減に関する要求書を提出しました。①「顔認証」起動が遅い、②保管庫不足、③デジタルドリルのアクセス不具合、④「学習系」、「校務系」間のデータ活用、⑤デジタル教科書接続、⑥接続確認の経過、⑦学校園ICT担当者の負担軽減、⑧学校園の接続

港支部は6月15日地下鉄阿波座駅前「ロシアはウクライナ侵略をやめろ! 戦争反対」の宣伝・スタンディング行動を行いました。当日は曇り空で時折小雨がばらつきましたが、信号待ちをして多くの人たちが聞いてくれました。

また、こんな事態だから「軍事費を2倍の10兆円に」とか「核兵器の共有を」等の議論があるが、

「核兵器禁止条約に日本の批准を!」を掲げ、原水爆禁止国民大行進が7月4日、大阪市を進行。大阪市教は原水禁大会(8月4日~6日、広島)に青年が代表参加します。

「文科省は、GIGAスクール構想で教職員のICT環境も大幅に整備されることを想定」と報じられていますが、学校現場の実態は教育活動に支障が生じており直ちに改善することを求めました。

「核兵器禁止条約に日本の批准を!」を掲げ、原水爆禁止国民大行進が7月4日、大阪市を進行。大阪市教は原水禁大会(8月4日~6日、広島)に青年が代表参加します。

環境改善、⑨「子どもたちに関わる時間」を確保するため、いっそう業務を軽減すること、を要求しました。



女性部総会が6月25日に開かれ、7支部から27人が参加して22年度の運動方針を決定しました。女性部長はあいさつで教員不足、委員会からの業務の丸投げ、研修の押し付けによる長時間過密労働は改善されていないこと、母性保護や出産子育てに関わる制度の充実が求められているにもかかわらず「制度があっても使えない」状況があることを指摘し、「今後組合員一人ひとりの声と要求に基づき女性部の運動を広げよう」と述べました。

宮城委員長が「民主化を進める『維新の会』の教育政策」を報告。コロナ禍が長期化する中、子ども共感が広がりました。

参加者全員の発言は各職場の現状や問題点、子どもの様子が具体的に述べられ共感が広がりました。

養護教職員からは新採用の養護教員に印刷や通知表の印鑑押し、持久走への参加を強制するなど信じられない実態が報告され、各学校にいる養護教職員をひとりにはしないほしいと訴えがありました。

参加者からは「ひとすぎ」と声が上がっていました。北大阪の組合員からの「この人は組合には入らないだろう」という思い込みを捨てて気軽に声をかけ、組合員を3人増やしたという報告に拍手がわきました。

「核兵器禁止条約に日本の批准を!」を掲げ、原水爆禁止国民大行進が7月4日、大阪市を進行。大阪市教は原水禁大会(8月4日~6日、広島)に青年が代表参加します。

女性部総会 全員発言で元気 気軽に声かけ 組合員3人増

女性部総会が6月25日に開かれ、7支部から27人が参加して22年度の運動方針を決定しました。女性部長はあいさつで教員不足、委員会からの業務の丸投げ、研修の押し付けによる長時間過密労働は改善されていないこと、母性保護や出産子育てに関わる制度の充実が求められているにもかかわらず「制度があっても使えない」状況があることを指摘し、「今後組合員一人ひとりの声と要求に基づき女性部の運動を広げよう」と述べました。

宮城委員長が「民主化を進める『維新の会』の教育政策」を報告。コロナ禍が長期化する中、子ども共感が広がりました。

参加者全員の発言は各職場の現状や問題点、子どもの様子が具体的に述べられ共感が広がりました。

養護教職員からは新採用の養護教員に印刷や通知表の印鑑押し、持久走への参加を強制するなど信じられない実態が報告され、各学校にいる養護教職員をひとりにはしないほしいと訴えがありました。

参加者からは「ひとすぎ」と声が上がっていました。北大阪の組合員からの「この人は組合には入らないだろう」という思い込みを捨てて気軽に声をかけ、組合員を3人増やしたという報告に拍手がわきました。

ロシアは侵略やめろ 戦争反対

港支部

港支部は6月15日地下鉄阿波座駅前「ロシアはウクライナ侵略をやめろ! 戦争反対」の宣伝・スタンディング行動を行いました。当日は曇り空で時折小雨がばらつきましたが、信号待ちをして多くの人たちが聞いてくれました。

また、こんな事態だから「軍事費を2倍の10兆円に」とか「核兵器の共有を」等の議論があるが、

「核兵器禁止条約に日本の批准を!」を掲げ、原水爆禁止国民大行進が7月4日、大阪市を進行。大阪市教は原水禁大会(8月4日~6日、広島)に青年が代表参加します。

仲間が増えた!
職場で声をかけ組合加入
突破講座でHPに申込み

A分会では2人の新加入がありました。理由を聞くと、組合には興味がなさそうな人だと思っていたけれど、「入れへん?」と声をかけたら「入るかな」と、すんなり加入してくれました」との答え。先入観を持たずに加入の声かけをすることの大切さを改めて感じました。また6月18日、教採突破講座でも講座の内容に納得された参加者が加入しました。

さらに大阪市教のホームページに「加入したいです」というメッセージが届き、加入が実現しました! 学校や教育の問題が大変になっている今こそ、仲間を増やし、声を上げることが大切です。大胆に声をかけ、あなたの職場でまず1人、仲間を増やしましょう!